

平成29年度学校評価報告書

1、教育

教育理念：美しい心情 豊かな感受性

教育目標

心身の調和的発達と個性才能の適期適正教育を目標とし、
次の教育方針をもって教育する。

- | |
|----------------------------|
| 1、健康で明るく はきはきした子どもの育成 |
| 2、よく見 よく考え ねばり強く行動する子どもの育成 |
| 3、友達と仲よく 親切にする子供の育成 |

*年齢別指導目標

1 健康で明るく
はきはきした子ども



- | |
|-----------------------------------|
| 3才：生活リズムを整え元気いっぱい幼稚園生活を送る。 |
| 4才：好きな遊びを見つけ、伸び伸びと活動しながら運動能力を高める。 |
| 5才：意欲的に体を動かし充実した生活を楽しむ。 |

2 よく見 よく考え
ねばり強く行動する子ども



- | |
|--|
| 3才：身の回りの色々な物に興味を持ちながら、自分の好きな遊びを見つけいっぱい楽しむ。 |
| 4才：先生や友達と一緒に、豊かな遊びや体験をいっぱい楽しむ。 |
| 5才：進んで興味を広げながら、友達と共通な目的を持って、遊びや生活を豊かに展開し楽しむ。 |

3 友達と仲よく
親切にする子ども



- | |
|---|
| 3才：気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。 |
| 4才：あそびの中で、友達と気持ちを伝え合う楽しさを沢山味わう。 |
| 5才：様々な活動や遊びを通して、考えや気持ちを伝え合う事の楽しさや温かさを味わう。 |

2、学年目標

- 3才児 ・日常生活に必要な望ましい生活習慣を身につける。
- 4才児 ・あそびの中で社会性や協調性を養う。
- 5才児 ・美しい心情 豊かな感受性

3、本年度取り組み目標 《意欲的に活動する子どもを育てる》

- 1、こどもの今を大切に、こどもの生活リズムと発達を考える。
- 2、遊びの充実から健やかな体を育む。
- 3、一人ひとりが輝く幼稚園生活。

4、 評価項目の達成・本年度の取り組み状況

項 目	取 組
1)教育・保育 ・取組目標 ・保育の実践	<ul style="list-style-type: none">・幼稚園教育要領・認定こども園教育保育要領の改訂を受け、その内容を確認め合い、理解していく為の園内研修を繰り返し行い、続けている。・年長組は男子の比率が多いため、カリキュラムを見直し、興味が深まる活動や体験を検討しながら進めてきた。・従来の形にとらわれず、実践につながる保育の記録・計画の書き方を工夫し、仕事の能率へと考え進めている。
2) 研究 ・研修 ・教育の質の向上の 為、教師の研修や園内 研究の充実を図る	<ul style="list-style-type: none">・全日本私立幼稚園関東ブロック新潟大会にて、西澤美穂が研究発表をするにあたり、研究チームを結成し取り組んだ。また、研修の幅を広げ学ぶことで、内容を深めることができた。・全員での研修時間がなかなか取れない中で、話し合いを夕方から夜にかけて行う事もあり、職員の大きな協力体制で進む事ができた。また、そのことで発表の大きな評価は、職員全員の喜びと自信へとつながった。
3) 幼小連携	<ul style="list-style-type: none">・幼稚園から小学校へとアプローチしていく事は難しく、今まで思うように進まない中、市内小学校の先生方が来園し年長児の保育を見学、意見交換へと大きな一歩となった。ここでの学びを生かし、保育に繋げて行った。・入学児保護者の意識と不安への対応として、禾生第一小学校の原田美貴先生より入学に向けてと小学校の生活などを中心に講演をいただいた。

<p>4) 1才児・2才児保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2才児の豊かで心地よい、環境・生活リズムを考え進めている。個々の思いや発達を考え寄り添い進めてきた。 ・夕方(16時30分)~(18時30分)別の部屋でお迎えを待つよう工夫、長い一日に変化をつけた事で子ども達の気分も変わり落ち着いた様子がみられた。 ・2才児のご飯をお弁当箱に詰め、おかずと分けたことで上手に食べわけられるようになった。
<p>5) 保護者への発信 ・地域交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の家庭訪問を取りやめ、1学期(4月)・2学期(10月)の年2回、個人懇談会を行い、保護者と担任がしっかりと向かい合い、子どもの成長について話し合う時間を大切に考えた。 ・養護老人ホームよこぶき荘・みんなの家を訪問、お年寄りとの交流を楽しんだ。 ・新しいホームページを30年4月オープンをめざし取り組んでいる。
<p>6) 健康・安全管理と体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関して、医療機関より『登園許可書』の提出を必要としたことで、しっかり治してから登園が感染を最小限に抑える事につながったと思われる。インフルエンザも広がることはなかった。 ・給食を食育と考え、メニュー表に材料も記入、給食だよりの充実など、さまざまな工夫を進めている。また、ひまわりレストランでのバイキング、行事デザートなど子ども達に食べる事の楽しさを伝える取り組みは大きい。
<p>7) 子育て支援 ・ちびっ子クラブ (預かり) ・こどもの部屋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み・冬休みを含めちびっ子クラブの日数を増やし対応。 ・支援センター『こどもの部屋』では、写真を中心としたこまめなブログの更新で活動を紹介、ブログの楽しさが、利用者へと繋がっている。

5、職員自己評価結果

- ・幼稚園担当の職員は個々の評価がきびしい、その中で意見・課題を見てみると、もっと努力し自分を高めたいとの思いが多く、評価点へと繋がっている。
- ・対照的に自分の努力が保育に繋がった事の喜び、そして自信となった事も見られた。
- ・ナーサリー担当は、手がかかった保育の中で子ども達の大きな成長が自己評価へと繋がっており、評価が高まった。また、前進するための具体的な意見が多く、保育者一人ひとりの努力がチームとしても力となっている事が感じられる。

6、取り組むべき課題

課 題	取組の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの幼児教育に向けて ・ 安全対策 ・ 発信 ・ 職員勤務体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 29年度同様、保育士のキャリアアップ研修参加を積極的に行い、単位を取得していく事で職員のレベルアップを図り、教育保育の向上へとつなげていく。 ・ 質の高い保育を目指す中で、保育以外の時間(研究・振り返り・準備・他)はとても大切となる。それぞれが仕事を見直し、時間配分を考えて行く。 ・ 食物アレルギーが増える中、診断書と共に保護者・栄養士・調理師・園長による話し合いを行い、個々に対応を決めて行く。 ・ 新しいホームページを生かし、より良い発信・利用方法を考えて行く。 ・ 30年度に向けて、 ～ 一人ひとりが生き生きと輝く職場を目指して ～ を掲げ『働き方改革』に取り組み、素敵な職場へと進めて行く。保育者が健康で豊かな生活を送ることは、さらなる保育の充実へと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園としてこれから地域に貢献していきたいとかがえている。まずは、小さなことから少しずつ取り組んでいきたい。

7、学校関係者評価委員

- ・ 本年度も三名の評価委員よりご意見をいただく。(文書)

(一部記載)

- ・ 教育理念から年齢別指導目標へ、しっかりとした目標設定が伺え、一貫した教育がなされていることが分かる。
- ・ 教員が自己を客観的に見つめ、資質向上や指導の改善をしようという前向きな姿勢に感心する。また、幼稚園全体をチームとお捉え、「みんなで子ども達のために」と言う姿勢も感じられる。
- ・ 昨年の課題にあった「ホームページの見直し」がしっかりと改善され、見やすくわかりやすいホームページは、在園児の保護者だけでなくこれから入園を考える保護者にも園の雰囲気が伝わってとても良いと思います。

特に子育て支援センターのブログは画像を多く使い頻繁に更新されていてとても素晴らしい。今後は、幼稚園での素晴らしい取り組みや教育カリキュラム等もホー

- ムページのみならずSNSなどを利用して対外的に発信していく事にも期待したい。
- 保育士のキャリアアップを目指す中で、保育士の健康状態を把握しながらの『働き方改革』に取り組まれることは、充実した保育に繋げるために必要であると思います。